

第61回 明治大学全国校友 福井大会

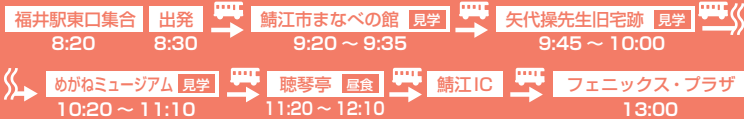
エクスカーション観光のご案内

大会記念特別ツアー

矢代操先生生誕地をめぐる鯖江ツアー 9/28



催行日	2025年9月28日(日)日帰り
旅行代金	おとなお一人様2,000円(税込/昼食付)
募集人数	40名
食事条件	朝食0回、昼食1回、夕食0回
バス会社名	永平寺観光株式会社 添乗員 全行程同行



エクスカーション 取消日・取消料		ご旅行開始日の前日から起算してさかのぼった日数
11日前まで	無料	前日
10~8日前まで	ご旅行代金の20%	当日
7~2日前まで	ご旅行代金の30%	旅行開始後取消、無連絡
		ご旅行代金の40%
		ご旅行代金の50%
		ご旅行代金の100%

▶▶ お申込みに関しては裏面をご覧ください ▶▶

【含まれるもの】 旅程表に記載の貸切バス代、昼食代
【含まれないもの】 飲物代、旅程表以外に行動される場合の費用、保険代、個人的性格の諸費用
 ※行程及び時間は、道路状況・運行機関等の都合により変更になる場合がございます。
 ※昼食での座席が離れる可能性がございます。

鯖江市まなべの館	矢代操先生旧宅跡	めがねミュージアム
日本の歴史公園百選に選ばれた西山公園の一角に位置する「鯖江市まなべの館」は郷土の歴史、芸術文化について楽しく「学ぶ」ことができる総合博物館。矢代操先生は鯖江出身であることから同館敷地内には、矢代操先生胸像建設実行委員会が建立した先生の胸像がある。また、1F受付では同委員会発行の「明治大学創始者 矢代操」を購入可能。	現在鯖江市屋形町の一角に「明治大学創立者・矢代操先生旧宅」を示す看板が立っている。今では藩政時代の面影を残す建物は少なくなったが、入り組んだ周辺の道々から、かつて鯖江藩政の中核であった陣屋の痕跡を見出すことができる。	日本No.1のめがねフレーム生産シェアを持つ産地の歴史が学べる博物館や、日本製めがねフレームが約3000本並ぶめがねショップがある。体験工房では、めがねの生地を使用してキーホルダーを作る体験やめがね手作り体験教室も楽しめる(要予約)。こだわり珈琲が味わえるカフェ、鯖江市内の銘菓やめがねモチーフグッズを取り扱うおみやげショップも併設。
【住所】鯖江市深江町・屋形町・本町・旭町周辺(福井鉄道西鯖江駅周辺)		

Aコース 一乗谷朝倉氏遺跡と大本山永平寺コース

催行日	2025年9月29日(月)日帰り	旅行代金	おとなお一人様14,000円(税込/昼食付)
		募集人数	40名(最少催行人員:20名)
食事条件	朝食0回、昼食1回、夕食0回	添乗員	全行程同行
		バス会社名	永平寺観光株式会社



【含まれるもの】 旅程表に記載の貸切バス代、昼食代、観光入場代
【含まれないもの】 飲物代、旅程表以外に行動される場合の費用、保険代、個人的性格の諸費用
 ※行程及び時間は、道路状況・運行機関等の都合により変更になる場合がございます。※昼食での座席が離れる可能性がございます。

一乗谷朝倉氏遺跡	大本山 永平寺	養浩館庭園
一乗谷にある一乗谷朝倉氏遺跡は、戦国時代に朝倉氏五代が約100年間にわたって越前の国を支配した城下町跡。武家屋敷・寺院・町屋・職人屋敷や道路に至るまで町並がほぼ完全な姿で発掘され、遺跡は、国の特別史跡・特別名勝、出土品は重要文化財に指定されている。	寛元2年(1244)、道元禅師によって開かれた禪の修行道場。深山幽谷の境内には70余りもの殿堂楼閣が建ち並び、中でも「七堂伽藍」と呼ばれる7つのお堂(法堂・仏殿・僧堂・庫院・山門・東向・浴室)は、僧侶が修行をする清浄な場所として特に重要な建物とされている。「永平寺」では今も多くの修行僧が日々厳しい修行に励んでおり、参拝者はその様子を伺い知ることができる。	大きな池を中心に周囲に書院建築が配置された日本庭園(回遊式林泉庭園(かいゆうしきりんせんていえん))。もとは、江戸時代初期から後期にかけて造られた福井藩主松平家の別邸で、「御水屋敷(おせんすいやしき)」と称されていた。明治維新後も庭園は松平家の所有地として残り、1884年(明治17年)に松平春嶽によって「養浩館」と名付けられた。

Bコース 恐竜博物館等奥越周遊コース

催行日	2025年9月29日(月)日帰り	旅行代金	おとなお一人様14,500円(税込/昼食付)
		募集人数	40名(最少催行人員:20名)
食事条件	朝食0回、昼食1回、夕食0回	添乗員	全行程同行
		バス会社名	永平寺観光株式会社



【含まれるもの】 旅程表に記載の貸切バス代、昼食代、観光入場代
【含まれないもの】 飲物代、旅程表以外に行動される場合の費用、保険代、個人的性格の諸費用
 ※行程及び時間は、道路状況・運行機関等の都合により変更になる場合がございます。※昼食での座席が離れる可能性がございます。

福井県立恐竜博物館	平泉寺白山神社	大野の街並み	石田屋ESHIKOTO店
アジアを中心に、世界から集められた恐竜の全身骨格を数多く見ることができ、まるで立体的な恐竜園遊のよう。実物大の恐竜たちが動く古環境復元ジオラマやCGシアターで、恐竜時代にタイムスリップした気分が味わえる。恐竜をはじめとする古生物、地球史の展示も充実。恐竜の姿に、親子そろってロマンと知的好奇心をかきたてられる。	杉木立のなか、敷き詰められた絨毯のように青苔が境内を覆う平泉寺白山神社。白山信仰の拠点として1300年を超える歴史を刻む境内は、かつての地に築かれた宗教都市の名残をとどめ、国史跡にも指定されている。	「奥越の小京都」と呼ばれる大野には古い街並みが残っている。朝霧にそびえる「天空の城」越前大野城は、絶好の撮影ポイントとなっている。	福井県最大の河川・九頭川の中流域に位置する永平寺町は清らかな水に恵まれ、かつて松岡地区には17軒もの酒蔵があった酒どころ。その歴史を継ぐ1軒が「黒龍」の銘酒で知られる黒龍酒造。[ESHIKOTO]は、この老舗蔵が2022年6月に開いた、酒をはじめとする北陸の食や文化を発信する施設である。

Cコース 東尋坊、丸岡城、久保田酒造コース

催行日	2025年9月29日(月)日帰り	旅行代金	おとなお一人様14,000円(税込/昼食付)
		募集人数	40名(最少催行人員:20名)
食事条件	朝食0回、昼食1回、夕食0回	添乗員	全行程同行
		バス会社名	永平寺観光株式会社



【含まれるもの】 旅程表に記載の貸切バス代、昼食代、観光入場代
【含まれないもの】 飲物代、旅程表以外に行動される場合の費用、保険代、個人的性格の諸費用
 ※行程及び時間は、道路状況・運行機関等の都合により変更になる場合がございます。※昼食での座席が離れる可能性がございます。

東尋坊	丸岡城	久保田酒造 酒蔵見学
断崖に日本海の荒波が打ち寄せる景色で知られる国指定名勝東尋坊。約1キロメートルにわたる豪快な岩壁が広がっている。このような輝石安山岩の柱状節理が広範囲にあるのは、世界に3カ所ともいわれ、地質学的にも大変貴重な場所である。初夏のまばゆいばかりに広がる青い空と日本海、秋の頃の日本海に太陽が沈み行く夕景、雪が舞う頃の荒々しい波と吹きつける寒風。どれも東尋坊と日本海の大自然が見せてくれる、四季折々の素晴らしい風景である。	丸岡城は、戦国時代の天正4年(1576)に柴田勝家の甥、勝豊によって築かれた。天守(国指定重要文化財)は外観は二層、内部は三層の独立式望楼型天守。石垣は「野つら積み」という古い方式で、すき間が多く粗雑な印象ながら排水がよく大雨に崩れる心配がないといわれている。	漫画「蔵の宿」のモデルにもなった久保田酒造は、江戸時代から続く造り酒屋。地元の水と酒米にこだわったお酒が造られている。

Dコース 嶺南満喫コース

催行日	2025年9月29日(月)日帰り	旅行代金	おとなお一人様17,000円(税込/昼食付)
		募集人数	40名(最少催行人員:20名)
食事条件	朝食0回、昼食1回、夕食0回	添乗員	全行程同行
		バス会社名	永平寺観光株式会社



【含まれるもの】 旅程表に記載の貸切バス代、昼食代、観光入場代
【含まれないもの】 飲物代、旅程表以外に行動される場合の費用、保険代、個人的性格の諸費用
 ※行程及び時間は、道路状況・運行機関等の都合により変更になる場合がございます。※昼食での座席が離れる可能性がございます。

レインボーライン山頂公園	福井県年縞博物館	氣比神宮
美浜・若狭町にかけてひろがるレインボーライン。リフト・ケーブルカーで上った先にある山頂公園は、名勝三方五湖・若狭湾が一望できる360°パノラマビュー、足湯やソファテラスなどの5つのテラスからの眺望は、まさに絶景。	特徴的な縞模様の地層「年縞(ねんこう)」をテーマにした世界初の博物館。三方五湖の一つ、水月湖の湖底には、約7万年の歳月をかけて積み重なった年縞が形成されている。水月湖の年縞は、考古遺物などの年代を測る「放射型炭素年代測定法」の補正に利用され、その精度を飛躍的に向上させたことから、「世界標準の年代のものさし」とよばれている。	7柱のご祭神をまつる北陸道の総鎮守。市民に「けいさん」の愛称で親しまれる氣比神宮は、大宝2(702)年の建立と伝えられており、明治に官幣大社となった。高さ約11mの大鳥居(重要文化財)は春日大社(奈良県)・厳島神社(広島県)と並び日本三大大鳥居の一つ。元禄2年旧暦8月(現在の9月終わり頃)には松尾芭蕉が訪れ、境内には松尾芭蕉の像と句碑がある。月の光が照らす境内の美しさを誇っているのもあり、日本百名月にも認定されている。

※参加費は2025年3月時点の価格であり、今後値上げの可能性があります。